

「授業備品」N0311 8.7.6 「動く道徳は子どもの心を揺さぶる」

内容は、「物語は、遊んではいけない場所でガラスを割ったことです。1枚は、仕方ないこと。もう一枚は、防げたことです。教師に言いに行くかどうかを悩んでいて、結局は行きましたが・・・。」

これまでの授業を見て感じたこと。

- ・道徳は一斉指導が多く、教師対子どもの一問一答が多い。これでは、分かる子が手を挙げ、その子と教師が進める授業。過去の授業スタイル。
- ・「特別の教科道徳」であっても「問題解決的な学習方法」が適用される。だから、アクティブな動きも求められる。

そこで、次のような学習活動が考えられる。

①「聞く」だけから「動く」道徳のスタイルに変える。「静かに聞く」ことは、今次の授業改革の子どもが主語の授業とはならない。動く動作を入れる。

「作業動作」（場面再現）を入れ、そのことから何を感じたかを把握し、自分なりの「結論」に達するようにする。

②出来るだけ「内容」早期に把握し、「教科書」から離れる（内容把握は、10分）。その後、学習課題を設定した問題解決的な学習に入る。

③小学校と中学校の道徳の在り方は違う。中学校では心を揺さぶる部分も入れたい。（本時では「まとめ」の部分）

裏庭での出来事

一 内容把握（十分以

キーワード 自律的な行動 責任

☆健二

二枚目も雄一が割ったこと

大輔

雄一

すぐに先生に知らせる。

を

二 場面再現1（動き）

「大輔がガラスを割ったことをごまかした場面」。三人、

健二が大切にしたかったものは何だろうか。仲間で相談しな

がら見つけよう。

「健二がベッドでいるいる考える場面」。三人、四人班各

班で全員が演技をして、その理由を全員が小ホワイトボー

ドに書く。

四 学び合い（3色マーカー方式）全員のホワイトボードに

全員が「マーカー3本」でラインを引く。赤、青、緑、黄、紫

緑、黄、紫（気づかなかったこと 青、黄、紫（共感） *キーワ

ード。リーダーが話し合いからホワイトボードの操作を行う。

五 グループでまとめる

「つまり、健二が大切にしたかったものは何だろう。理由もあ

わせて班の考えを大きな短冊に書き、黒板にはり出す。」

六 振り返り

「今回の事例から、考えさせられたことや、これから大切に

したいこと」をタブレットでまとめ、提出。

八 振り返り

自分は、「実際の場」でどんな行動をするのか。自らの行動

を、改めて考え他振り返りとする。

【 中学校1年 】 単元名・教材名 裏庭での出来事	
前回の課題を受けての本時の改善点 生徒同士が主体的に関わり合い、活動を通してお互いの考えを積極的に交流することができる授業。	
本時のねらい	めあて：自立的に考えて判断し、行動するために大切なものについて考えよう。 課題：自律的な行動を支えるのは、どのような心なのだろう。 キーワード：自律的な行動 責任
評価	自律的な行動の難しさと大切さに気づき、自律的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ道徳的判断力を高める 【道徳的な判断力】 (評価方法：□挙手 ☒ 発言 □聞き方 ☒ ワークシート ☒ 学習態度 □成果物)

写真の貼り付け（当日の授業で予定している板書の写真を貼り付けてください。白黒でOK。）

○勇気

健人が大切にしたいかったものは何だろう。理由もあわせて考えよう。

○自分、自分の心

○友達

○真実

○やっぱり自分が正しいと思うことをしよう！

○先生には本当のことをいわない！

○もやもやした気持ちをそのままにはできない。

○自分には本当のことを伝える責任がある。

○勇気を出して自分の思いのままに行動したい！

健人はどのようなことを考えて、職員室にいくことを決めたのだろう。

雄一

↓

すぐに先生に知らせる。

大輔

二枚目も雄一が割ったことに、

先生に事情を話す際、大輔が二枚ともひなを助けるために割ったことにしたのを、健人はどのように思った？

○俺のやったことに便乗しやがって。調子いいな。

○正直に自分たちの非を認めればいいのに、、、。

○いつの間にか二枚目が割れたんだ。それをどうして俺のせいするんだ、、、。

☆健人

キーワード 自律的な行動 責任

裏庭での出来事